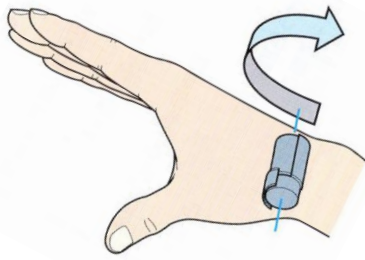


はじめに、手関節の復習

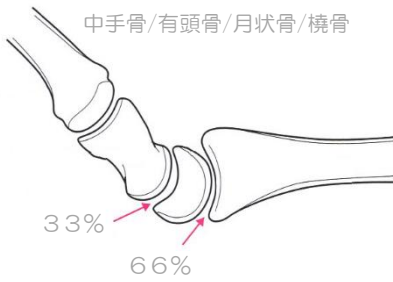
1-手根列の関係性

●近位/遠位手根列の蝶番構造

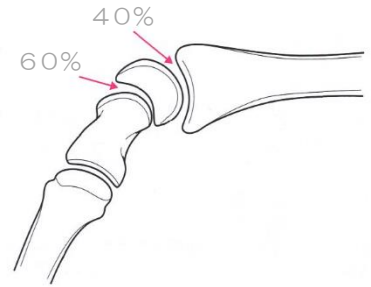


2-手根骨の可動性

●背屈時

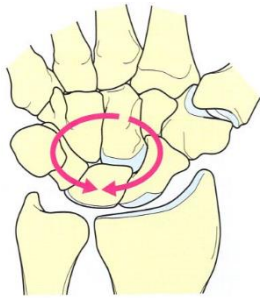


●掌屈時

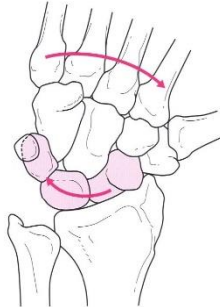


3-ovel ring theory

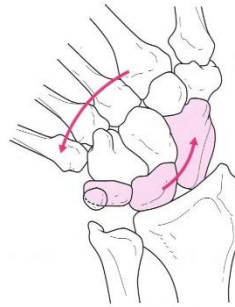
●橈尺屈と近位手根列



《橈屈⇒尺側移動》

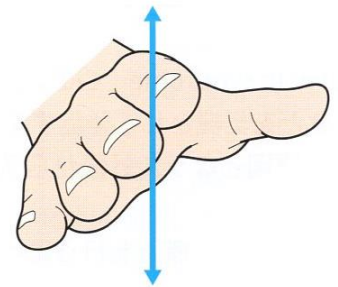


《尺屈⇒橈側移動》



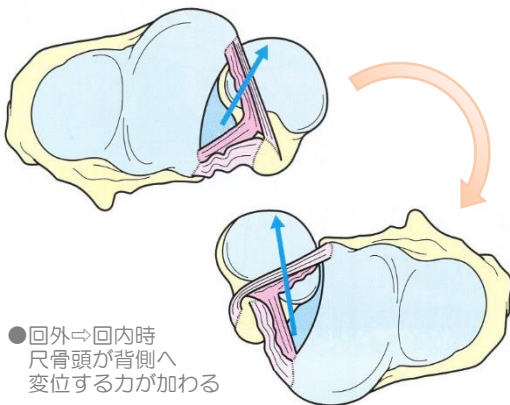
4-ダーツスロー運動

●橈背屈 ⇄ 掌尺屈 可動関節は？



5-回内外と尺骨変位

●回外⇒回内時 尺骨頭が背側へ変位する力が加わる



6-ulnar variant

●橈骨関節面と尺骨関節面の位置関係

《zero variant》 ± 1 mm

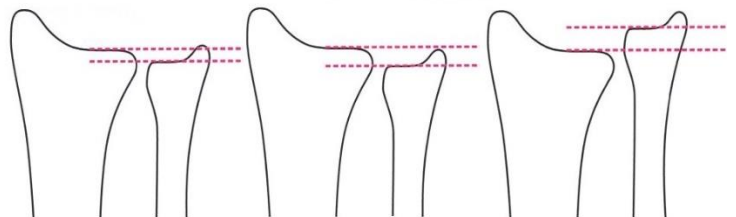
《minus variant》 > 1 mm

《plus variant》 < 1 mm

・正常

・手根骨の負荷大

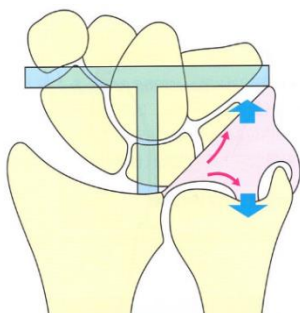
・尺骨突き上げ症候群



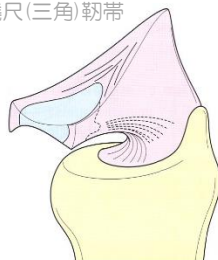
1. 三角線維軟骨複合体損傷 (TFCC 損傷)

1-概要

●手関節尺側痛の代表格、疼痛主体、腫脹発赤は軽度 握力低下を認める



三角線維軟骨 尺側々副靭帯 橈尺(三角)靭帯



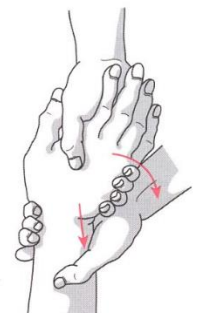
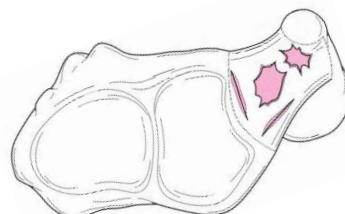
2-症状/検査法

●スポーツや加齢変性に伴い損傷 尺屈時の回内外で疼痛出現。

【尺骨頭ストレステスト】 尺屈+軸圧⇒回内外 ⇒疼痛クリックを確認

《合併症例》

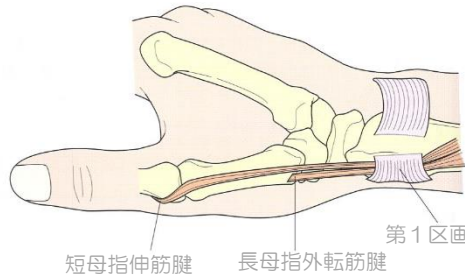
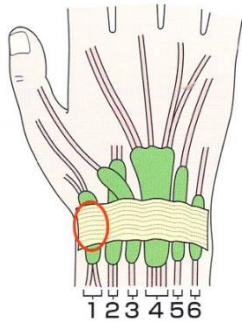
- ・コーレス fr、尺骨茎状突起 fr
- ・尺骨突き上げ症候群



2. ド・ケルバン病 (de Quervain 病)

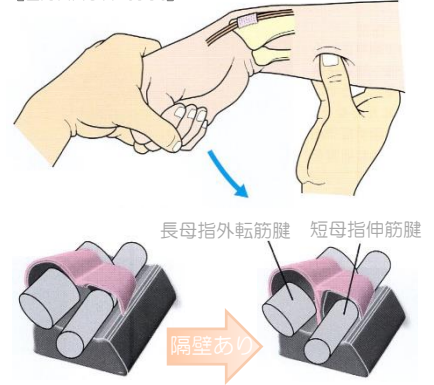
1-概要

- 手関節橈側痛の代表病、中高年の女性、産後女性に多い腱鞘炎
母指伸筋腱と橈骨茎状突起部間の摩擦で生じ、母指の運動痛が主訴



2-検査法/難治例

【Finkelstein test】
【Eichhoff test】

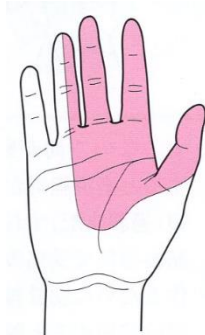
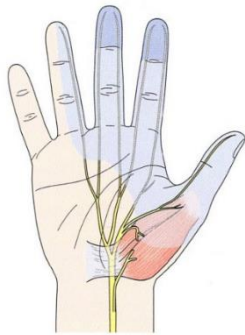


3. 末梢神経障害

a. 手根管症候群

1-概要

- 正中神経が手根管で圧迫される低位型麻痺
中年以降の女性、出産前後、閉経期に多い



2-検査法/所見

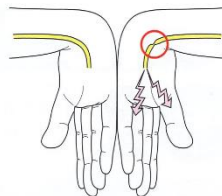
【Phalen test】

1分間の掌屈でしびれを誘発

【Flick sign】

しびれ感軽減のため、自ら手を振る動作をする

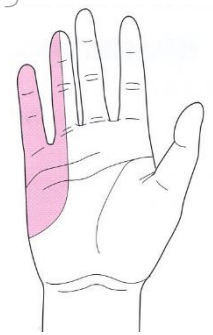
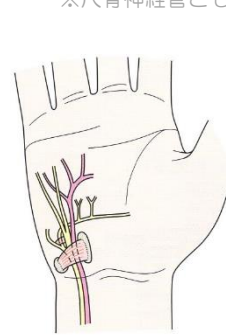
- Tinel 徴候、猿手、対立不能



b. ギヨン管症候群

1-概要

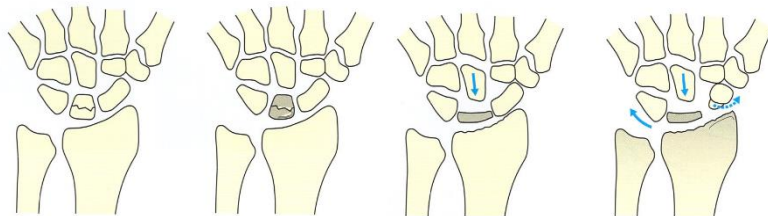
- 稀な尺骨神経低位型麻痺、パッドグリップ損傷による有鉤骨折に多い。
※尺骨神経管ともいう



4. キーンベック病 (Kienbock 病)

1-概要

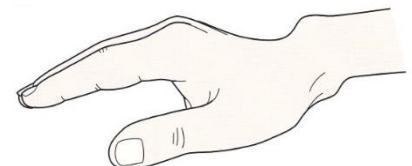
- 月状骨の阻血性壊死、手を酷用する大工など青壮年に多く長期予後は良好。
手関節背側の圧痛、進行により握力低下を生じる ※minus variant に多い



5. マーデルング変形

1-概要

- 橈骨遠位骨端線の形成不全※掌尺側
思春期の女性に多く、両側性が多い。
⇒尺骨が背側に突出し、【銃剣状変形】を呈する



1.TFCC 損傷		●スポーツ損傷、加齢変性で発生	●運動痛：→
2.ド・ケルバン病		●中高年又は産後の女性に多い	●検査法：→
3.末梢神経障害	手根管症候群	●中高年又は産後の女性に多い	●検査法：→
	ギヨン管症候群	●スポーツ損傷、オーバーユース	●外 傷：→
4.キーンベック病		●青壮年男性、手を酷用する職業	●症 状：→
5.マーデルング変形		●思春期の女性に多い	●外 観：→

ご清聴ありがとうございました。

練習問題

問題1 TFCC 損傷で誤りはどれか

1. 手関節の尺側に疼痛や圧痛がある
2. 前腕の回旋運動により運動痛やクリックを生じる
3. 発赤や腫脹は著明である
4. 握力の低下を認める

問題2 ド・ケルバン病で誤りはどれか

1. 母指基部から手関節橈側に向け腫脹を生じる
2. 母指の運動痛が著明である
3. アイヒホッフテストが陽性となる
4. 撓屈を制限する副子固定が有効である

問題3 手根管症候群で誤りはどれか

1. 手根管部にて Tinel 徴候を認める
2. 母指球部の感覚障害を認める
3. ファーレンテストが陽性となる
4. 症状が進行すると猿手になる

問題4 キーンベック病で誤りはどれか

1. 舟状骨の骨端症である
2. 利き手に多い傾向がある
3. 手を酷使する職業に多い
4. 予後良好である

問題5 マーデルング変形で誤りはどれか

1. 成長障害である
2. 青壮年の男性に多い
3. 両側性の場合が多い
4. 銃剣状変形を呈する

参考資料) 上肢の末梢神経障害

部位/神経障害	運動麻痺	知覚障害	
肩部神経	肩甲上神経	・棘下筋萎縮	・肩甲骨背部
	腋窩神経	・三角筋萎縮	・肩外側部
正中神経	円回内筋症候群	・猿手 (母指球筋萎縮) ・祈祷指位 (2、3深指屈筋麻痺)	・正中神経領域
	前骨間神経麻痺	・涙のしずく徴候 ・パーフェクトOの不整	・なし
	手根管症候群	・猿手 ・ピンチ力の低下	・正中神経領域 (母指球は正常)
橈骨神経	橈骨神経麻痺	・下垂手	・橈骨神経領域
	後骨間神経麻痺	・下垂指 (長橈側手根伸筋は免れる)	・なし
尺骨神経	肘部管症候群	・フローマンサイン ・指交叉テスト	・尺骨神経領域
	ギヨン管症候群	・猿手 (4、5深指屈筋麻痺) ・鉤爪手 (骨間筋萎縮)	・尺骨神経領域 (小指球は正常)

※参考

1. TFCC 損傷 → 尺屈、回内回外
2. ドケルバン病 → フィンケルシュタインテスト
アイヒホッフテスト
3. 手根管症候群 → ファーレンテスト、チネル徴候
ギヨン管症候群 → 有鉤骨骨折
4. キーンベック病 → 手関節背側の圧痛、握力低下
5. マーデルング変形 → 銃剣状変形

受診した医師の診察記録を参考にしてください

診断書は必ずしも必要ではありませんが、診断書を作成する場合は、
 医師の診察記録を参考にしてください